

自律した学習者を育てるⅡ

子どもと教師でつくる「学びのものさし」

8:00 8:25 8:30 9:05 9:20 10:05 10:25 11:10 12:20 14:10 14:30 16:00

受付	移動	全体会 (研究説明・諸連絡)	移動	提案授業Ⅰ	移動	提案授業Ⅱ	昼食・休憩	各教科等別 授業協議会	移動	パネルディスカッション 講評
----	----	-------------------	----	-------	----	-------	-------	----------------	----	-------------------

詳細はホームページを
ご参照ください



提案授業Ⅰ

教科等	単元・題材名	授業者	研究協力者	教材分析協力者	助言者
6年国語	書きたい世界が広がる 「作家の時間」	小室 真紀	成田 雅樹 高橋 茉由	岡 英里奈	中央教育事務所 佐藤 高行
2年算数	1を分けて ～分けた大きさの表し方は?～	井谷 紀子	佐藤 学 加藤 慎一	*	中央教育事務所 石井 和史
1年図工	ふしぎなせかいでみつけたよ ～くもにのって～	三浦 茉莉	長瀬 達也	石井 宏一	中央教育事務所由利出張所 安保 朋子

提案授業Ⅱ

教科等	単元・題材名	授業者	研究協力者	教材分析協力者	助言者
6年理科	てこの規則性 てこのはたらきとしくみ	柴田 省吾	田口 瑞穂	*	中央教育事務所 熊井 修一
3年体育	跳び箱運動～ピョンと跳んで、ピタッと着地! みんな目指せ金メダル!!～	佐々木駿斗	松本 奈緒	三戸 範之	中央教育事務所 久米 美樹
4年 外国語活動	Let's go to the world! —What do you want?—	佐々木絵理子	佐々木雅子	*	中央教育事務所 相馬真紀子
5年総合	きらり みんなの笑顔あふれるまちⅢ ～働くってどんなこと?～	稲垣 勇介	細川 和仁	*	中央教育事務所 澤木美穂子

ファシリテーター

パネリスト



慶應義塾大学
教職課程センター 教授
鹿毛 雅治 氏



国立教育政策研究所
総括研究官
千々布 敏弥 氏

急遽決定!

鹿毛先生、千々布先生に
ご登壇いただきます

テーマ **パネルディスカッション**
「自律した学習者を育てる授業デザイン」

本校職員が授業づくりのおもしろさや悩みについて
お二人の先生と対談し、参加者とともに理解を深めます。

参加をご希望の方は、令和6年11月22日(金)まで、本校ホームページ専用フォームからお申し込みください。

主催：秋田大学教育文化学部附属小学校

【ホームページ URL】 <https://www.aes.akita-u.ac.jp>

【TEL】 018-862-2593

10/4開催 公開研究協議会 I 参会者の声をお届けします(アンケートより)

VOICE



いつのまにか私自身が「こうしなければならぬ」と思いこんでいたことの殻を破って下さった驚きと感動がありました。**自身の学びに没頭している児童の姿**も素晴らしいと思いました。「この教材はこのようにやればよい」という**自分の思い込みを打ち破ってもらった気持ち**です。授業の進め方は一つではないし、何よりも児童自身が学び進めることには様々な進め方があることを教えていただきました。



朝の研究説明から最後の講演まで一貫した内容でよかったです。**もっとも役に立ったのは、その研究の具体を示す授業提示**でした。いずれの授業提示も「同期と非同期の往還」が見られ、大変参考になりました。



子どもの様子について話し合うことで、支援が有意義だったかを考えることができよかったです。授業協議会となると、授業者批判になりがちなので**あたたかい雰囲気**で協議ができました。



授業協議会で授業者の意向をくみ取って司会者の先生が補足していた姿を見て、授業者の先生に任せきりではなく、**様々な方が授業に関わっている姿がとてもよい**と感じました。



児童の学習内容を**ワークショップで追体験**でき、貴重な経験となりました。



研究のまとめ方、エピソード記述の書き方、姿の見取り方など、**子どもの姿をどのように分析**しているのかを教えていただけると、参加者がこれからの研究の進め方の参考になります。**仮説検証にとらわれない研究のスタイル**として、ぜひ全県に発信してください。



子どもを育てるためには、人として育てることの大切さを実感しました。**自分の教師としての資質向上が不可欠**であり、これから子どもたちのために日々精進していきたいと思わせてもらった1日でした。



鹿毛雅治氏のご講演をお聞きし、「**子どもたちが自然とやりたくなるために、教師は場をデザインし続け、働きかけ続けなければならない。常に創造的な教師でなければならない。**」という言葉が心に残りました。